

# まるてん有限公司 かつおの天ばく

<http://www.katubushichi.com>

## 「木づかい宣言」

令和2年 6月 ~令和5年 5月

私たち「かつおの天ばく」は、兼ねてより鯉節の燻し作業において、この地域に古くから自生する『ウバメガシ』を積極的に使用してきました。受継ぎながら、神嘗祭への献上をもつくりの源流とし、日々ものづくりに励んでいます。

弊社で使用する『ウバメガシ』は、伊勢志摩の里山の材を使用しています。使い続けることにより、再生し、更には、川を通じて繋がる海の再生にもつながりました。私たちのご先祖様はこの自然の循環を活かしながらの伝統的なものづくりをする仕組みを、我々に残して下さったのです。

また、『鯉燻し小屋』の建物は、築80年以上経つ昔からあります。建材には、三重県産の杉を多く使用しています。三重の気候や風土と相性が良く、強く長く持ち続けることと、杉が持つ『調湿作用』が鯉節のカビ付けを行う『ムロ部屋』には欠かせません。以上のように建物にも三重県産の材を使用することにより、地域の活性化や森林の保全にも貢献していきたいと考えています。

我々は、これらの仕組みをこれからも継続していくなかで、緑の循環の一端を担うことをここに宣言します。

### 木づかい運動計画書

「いぶし小屋」の外壁や鯉節のカビ付けを行う「ムロ部屋」に、三重県産スギを使用するとともに、鯉節の燻し作業に伊勢志摩産ウバメガシを使用いたします。また、見学ツアーで訪れた皆様に県産材を使用している旨の紹介をいたします。

◎ 「いぶし小屋」「ムロ部屋」に三重県産スギ材を使用します。

樹種：三重県産スギ

使用量：

内外壁材 0.45㎡ (県内産スギ赤身)

下地銅縁 0.15㎡ (県内産スギ)

実施日：

改修・修繕時において随時、県産材を使用いたします。



カビ付け部屋「ムロ部屋」外観

※鯉節の燻し作業に伊勢志摩産ウバメガシを使用しています。

使用目的：鯉節の燻し作業

樹種：三重県産ウバメガシ

使用量：4500kg/年

実施日：通年



燻す際の燃料として三重県産ウバメガシを使用しています